

戦争しない国づくり新聞

どう思う

高市発言・スパイ防止法

①高市発言について

残念ながら高市氏は外交や経済など複雑な問題解決の意欲も能力もなく、人気取りに励んでいる様子がかげえまます。将来の影響まで考えて発言することは全く期待できません。

先月、大学同期の友人4人(大阪在住)が鹿児島観光に来ましたが、全員高市支持でした。自ら希望して知覧特攻平和会館に行った直後に中国をあしざまにこき下ろし、制裁を加えるべきと発言しました。「高市さんを悪く言わんといて」と叫び、取りつく島がありませんでした。議論は時間の無駄、畑の

害虫と同じに必要なのは防疫です。まとまった人数を移住させないこと、こちらの支持できる人を県、市町村の代議士として選出することが大切だと思います。

②スパイ防止法について

賛否を討論している番組を見ました。日本のスパイの活動実態が全くわからず、組織化されている米国等と同列に考えることはできないと感じました。また、スパイ行為の定義があいまいで刑法法定主義に反し憲法違反になる可能性もありま

す。いい加減な指導者についていく国民が多数である中、指導者の失敗を隠すために

いい加減な指導者についていく国民が多数である中、指導者の失敗を隠すために

発行責任者
戦争しない国づくり応援団
代表 横山 富美子

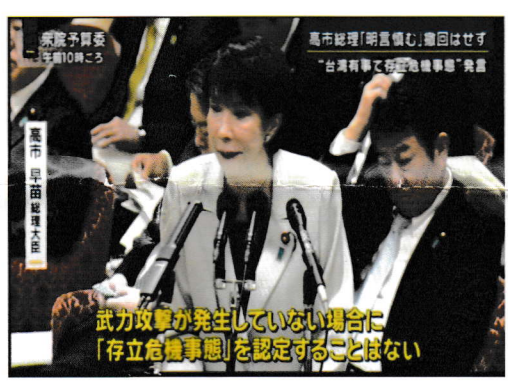
事務所(連絡先)
〒 899-4304
霧島市国分清水1丁目22番26
FAX 0995-47-7176
メール
yokoyama@9artikolo.com

【会員募集中】
年会費 1,000円

スパイ容疑をでっちあげる危険もあります。内容を明確にできない状態での法制化は絶対に反対です。

(大神 深雪)

高市という人は「さもしい顔して貰えるものは貰お



うかと生活保護者」「奈良公園で外国人が鹿を蹴り上げた」など根拠のない発言が目立つ。また、放送法の間違った解釈についても訂正謝罪はしなかった。そし

応援団FBのURL



口が見えない。

中国はなぜ反発するのか。それは国交回復した1972年の日中共同声明で「中

華人民共和国政府が中国の唯一の合法政府であること

を承認」し、「中華人民共和國政府は、台湾が領土の不可分の一部であり」日本

政府は、このことを十分理解し尊重し立場を堅持するとしたのである。したがって総理の発言はとんでもない中国に対する内政干渉であり直ちに発言を撤回し謝罪すべきであった。

しかし彼女は意固地で優しさもなく平気で嘘もつく。国民の迷惑より自分の立場を優先するその頑なさとはトランプにも呆れられるほどである。

中国からの旅行者が激減、観光業関係者の不安は年を越すだろう。これから中国

て今回の台湾戦艦有事発言は中国と大きな緊張を招きいまだ出向け輸出も減ることになり様々な国内生産者も困る。一方で経済政策の継続は円安傾向に拍車をかけ物価高はさらに続く。この先尖閣諸島などでの小競り合いから戦争につながることも否定できない。高市総理は辞任するしかない。

(山下徹志)

高市発言について、3つの事を考えました。

①「台湾有事」って何のことだか、よく知りません。日本にとつての有事ではない点だけは知っています。ところが総理はそれを日本の有事ととらえた点、明らかに誤りであり、即刻撤回すべきで、中国に謝らなければなりません。

②仮に軍事的行動が台湾で起こったとして、日本が武力で対応する事を口にした点、憲法9条違反の政権であることを国内外に示し、

法治国家でない日本は、外国からは信用されなくなるでしょう。(裏面に続く)

違憲行為を示す総理では、政治は成り立ちません。衆議院を解散し政権交代するのが、戦争から遠ざかる道だと思えます。

③ALPS処理したトリチウム汚染水を海洋放出した後、ヨーロッパや韓国・中国の指導者たちは自国民の健康を心配し、いっそう日本海産物の輸入を制限しました。それは賢明な対応で

当然です。年間20兆ベクレルのトリチウムが流される、と言います。川内原発(加圧水型原発)から海に流されるトリチウムは、年間50〜60兆ベクレルです(原子力規制庁)。だから私は川内原発近海の魚は食べないように、と周りの人々に教えています。内部被曝に蓋をして、放射能汚染食品を流通させる日本のやり方は間違っています。

(横山 富美子)

「スパイ防止法」について考えよう

「スパイ防止法」について私の知っている事、思っていることについて書きたいとペンをとりました。日本

はスパイ防止法を持たない世界でも珍しい国と言われてきました。それは「日本国憲法」を「憲法9条」を守るために活動してきた私たちの誇りです。そんな今、国会議員のなかで「スパイ防止法」の議論が進められようとしています。国民は

「スパイ、私には関係ない」と思い、その中身を知らない人が多いのです。政治は多くの国民の知らない事をどんどん進めていきます。私は、私たちがどんな怖い日常迎えることになるか知ってほしいと思います。スパイ防止法の一番目標とする法令は「軍機秘密違反」です。どんな軍機を持っていいのか、大砲は銃器はミサイル配備はどうなっているのか。私も知りたいです。しかしスパイ防止法が制定されると、私が軍機について知ろうとしただけで「罪」となり収監されるのです。そして怖いのは「国家機密法」です。「原発のことを聞いても」県庁、市役所にその町の自衛隊の場所を聞きに行っても、弾薬庫のこ

とを聞いて回っても、スパイ防止法違反になることもあります。私たちのあらゆる生活に捜査が及ぶことになりそうです。そして誰が考えなくてもこれは戦争準備です。「私に関係ない」と思わずに「スパイ防止法」をしつかりと知りましょう。考えましよう。

(友田良子)

高市政権の台湾政策

高市政権の「台湾有事」

高市政権の「台湾有事」についての発言は国内外で大きな問題となっている。トランプアメリカ大統領との会見に触発されたものか、あるいはもともとの政治姿勢が発現したものか？

①原発の危険性が東北震災で明らかになったにも関わらず原発政策の推進 ②自衛隊の強化と基地の拡大 ③マスコミによる宣伝 ④軍需産業などの公然化と推進などが強行されている。憲法9条の理念と民意から

かけ離れている今日の日本の政治状況である。トランプ政権の危険な行動と発言に触発されていると思われるがトランプの場合は実行の場合と駆け引きの側面が



11月19日高市発言撤回・抗議行動(国会前)

ムス・ボンドの「007危機一発」を思い出す。それはフアンタジーとして楽しんだものだが、まさか国会の舞台上でスパイの話が出ることは、想像もしなかった。

昨今の日本の政治状況を危惧しているが、「スパイ防止法」などと軽々しく発言する政治家たちは、太平洋戦争をフアンタジーぐらいに思っているんだろうね。スパイが暗躍する世界はすでに戦争の真つただ中だから、敵を欺くためには味方を欺くことになる。政府や軍の一部の人しか真実は知らされない。敵のスパイだと思われて、牢にぶち込まれたり、秘密裏に殺されるかもしれない。戦争の実態は大量虐殺のウクライナやガザの惨状を見ると一目瞭然。強力な武器を装備した現代の戦争のリアリズムは、何千万人もの尊い命が失われたことを伝える。その無辜の民の命はもう還つて来ない。子や孫が敵兵だとしても人を殺す「悪」を犯すのを止めなければ。

(前原英文)

スパイ防止法を軽々しく語るなかれ

スパイ、という言葉を聞くと、昔観た映画ジュー

(河野達人)